

## 奈良市総合交通戦略の策定について（報告）

都市や地域における安全で円滑な交通の確保と将来を見据えた魅力あるまちづくりを進めるため、令和元年10月より国、県、市、交通事業者、道路管理者、警察、地域の代表者、学識経験者等で構成される「奈良市地域公共交通会議」において、関係者が一丸となり奈良市版の『都市・地域総合交通戦略』にあたる『奈良市総合交通戦略』を下記のとおり策定しました。

### 記

#### 1. 目的

（仮称）奈良インターチェンジを含む京奈和自動車道（大和北道路）の整備や、JR線の一部高架化ならびに新駅の設置が控える中、公共交通不便地の存在、慢性的な渋滞等、地域によって異なる交通課題やニーズの違いが存在する。人口減少・高齢化や来訪者（観光客）の増加など、今後の社会情勢の変化を踏まえつつ、地域の実情に沿った交通サービスの構築や、公共交通の利用促進を啓発すべく、「奈良市総合交通戦略」を策定する。

#### 2. 計画の位置づけ

「奈良市第5次総合計画（案）」、「奈良市改訂都市計画マスタープラン」等を上位計画とし、「奈良中心市街地公共交通総合連携計画」等の関連計画とも整合を図る。

#### 3. 計画期間

2021（令和3）年度～2031（令和13年）年度の11年間とする。

ただし、中間年次等において、社会情勢の変化等を踏まえながら、柔軟に見直しを行う。

#### 4. 策定経過

奈良市地域公共交通会議において、令和元年10月から令和3年10月までの期間に計5回で「奈良市総合交通戦略（案）」を協議。令和3年11月から1ヶ月間パブリックコメントを実施し、令和3年12月の奈良市地域公共交通会議において策定を承認

#### 5. 計画概要

別紙「概要版 奈良市総合交通戦略」のとおり